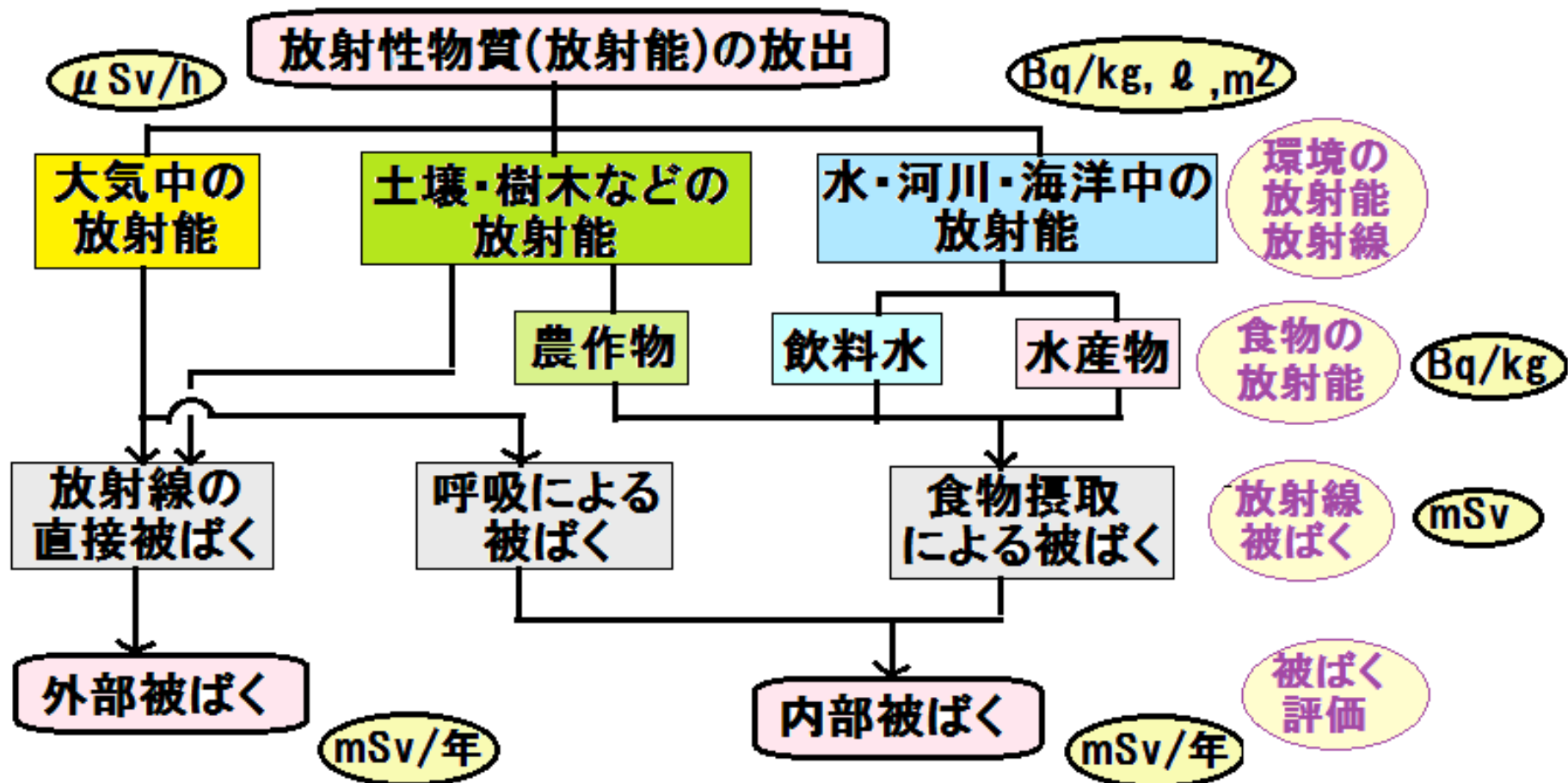


食の安全フォーラムinいわき
いわき市における
放射性物質検査の取り組み

- ◆ いわき市の検査体制
- ◆ 農作物・水産物
- ◆ 飲料水・加工食品
- ◆ 給食(保育所・学校)
- ◆ 全体検査
 - ・食事の検査(給食、家庭)
 - ・内部被ばく検査(ホールボディカウンター)

いわき市

放射能・放射線と健康との関連



放射性物質に関するいわき市の検査体制

検査対象物		開始時期	現在の測定器/検出下限値		担当部署	
農作物	出荷用	H23.9	NaI	10 (Bq/kg)	見せる課 (測定は各団体)	
	米	H24.9		25		
	自家消費用	H24.4		10 (核種別)		
水産物		H24.5	NaI	10		
水道水		H23.3	Ge	1 (核種別)	水道局	
井戸水		H24.1	Ge	1 (核種別)	保健所	
加工食品		H24.2	Ge	10 (核種別)		
給食	食材	保育所	NaI	10 (核種別)	児童家庭課 教育委員会	
		学校				H24.1
	牛乳(学校のみ)		H24.1	Ge		1 (核種別)
	一食全体	保育所	H24.1			
		学校	H24.8			
家庭における食事		H24.6	Ge	1 (核種別)	保健所	
内部被ばく検査		H23.11	WBC	Cs134 200(Bq/全身) Cs137 220	保健所	

◆主な検査体制のみを記載

◆NaI…NaIシンチレーション検出 Ge…ゲルマニウム半導体検出器 WBC…ホールボディカウンター

『いわき産農林水産物の放射性物質の 検査結果について』

**いわき市 農林水産部 農政水産課
(見せます!いわき情報局 見せる課)**



見せます!いわき情報局

見せる課

農作物（出荷用）の検査体制

県による検査（緊急時モニタリング検査）

主体：福島県

場所：福島県農業総合センター（郡山市）

対象：福島県産の農林水産物

機器：ゲルマニウム半導体検出器

市による検査（いわき産農作物安全確認モニタリング検査）

主体：市・市内農協

場所：JAいわき市営農センター5か所、JAいわき中部渡辺支店

対象：市内農業者が出荷する農作物・一次加工品

機器：NaIシンチレーションスペクトロメーター 6台

方法：30分間測定（検出下限値：10Bq/kg）

※平成24年3月までは10分間測定（検出下限値：20Bq/kg）

農作物（出荷用）の放射性物質検査結果

○いわき産農作物安全確認モニタリング検査の結果

平成23年9月20日から平成25年9月30日までに12,616件を検査。

Bq/kg	検査数	割合	
20未満	12,236	97.0%	内10未満(平成24年4月以降の検出下限値未満)は9,764件
20～50以下	281	2.2%	
50～100以下	64	0.5%	
100超	35	0.3%	
合計	12,616	100.0%	

農作物（出荷用）の放射性物質検査結果

○検査数の多いもの(上位16種)

作物	検査数	20Bq/kg未満の数	検出された最大値 (Bq/kg)
ネギ	998	998	14
玄米(H23)	742	711	59
ジャガイモ	583	582	24
梨	582	582	11
大根	466	466	11
玉ねぎ	413	413	-
カボチャ	402	402	18
きゅうり	380	380	11
キャベツ	343	343	15
なす	340	340	11
トマト	268	268	-
インゲンマメ	262	261	26
白菜	260	259	22
ほうれん草	258	252	56
小松菜	229	226	31
サトイモ	213	213	17

農作物（出荷用）の放射性物質検査結果

○検査結果の高かったもの(上位13検体...200Bq/kg超)

作物	検査結果 (Bq/kg)	検査時期
原木なめこ (露地)	1,800	H23.10.28
たけのこ	593	H24.4.2
ゆず	454	H24.1.6
原木しいたけ (露地)	429	H23.11.9
ワラビ	416	H24.5.2
梅干	383	H24.9.12
タラノメ	358	H24.4.19
ゆず	342	H23.11.25
ゆず	296	H23.11.29
梅干	288	H23.10.29
干し柿	283	H25.1.18
ゆず	267	H23.12.8
芋がら	232	H23.11.30

農作物（出荷用）の放射性物質検査結果

○検査結果が100Bq/kgを超えたもの

作物	検体数	検査結果（Bq/kg）	検査時期
原木なめこ（露地）	1	1,800	H23.10.28
たけのこ	1	593	H24.4.2
ユズ	14	454, 342, 296, 267, 194, 192, 186, 158, 155, 146, 136, 119, 110, 102	H23.10.27~H24.1.6
原木しいたけ（露地）	1	429	H23.11.9
ワラビ	1	416	H24.5.2
梅干	4	383,288,166,104	H24.4.11~H25.5.15
タラノメ	1	358	H24.4.19
干し柿	1	283	H25.1.18
芋がら	1	232	H23.12.1
ブロッコリー	1	197	H23.11.22
キウイフルーツ	2	186,121	H23.12.7 , H23.12.21
ミョウガ	1	179	H25.8.2
切干大根	1	140	H25.1.22
フキ	1	133	H24.4.25
栗	1	120	H24.10.4
柿	1	115	H23.10.17
甘夏	1	115	H24.3.19
水菜	1	107	H24.1.23

農作物（出荷用）の放射性物質検査結果

○出荷制限等

作物	制限内容	制限期間
野生きのこ	出荷制限・摂取制限	H23.9.15～
原木ナメコ（露地）	出荷制限	H23.10.31～
ゆず	出荷制限	H24.1.10～
たけのこ	出荷制限	H24.4.9～
タラノメ（野生）	出荷制限	H24.5.1～
ぜんまい	出荷制限	H24.5.2～
ワラビ	出荷制限	H24.5.10～
こしあぶら	出荷制限	H24.5.14～
栗	出荷制限	H24.10.12～
さんしょう（野生）	出荷自粛	H25.5.15～

農作物（米）の検査体制

ふくしまの恵み安全対策協議会 全量・全袋検査

主体：いわき地域の恵み安全対策協議会
(市、JA、商系団体により構成)

場所：JA・商系団体の倉庫等9か所

対象：市内で生産されるすべての米

機器：ベルトコンベア式検査機 9台

(NaIシンチレーションスペクトロメーター)

方法：30kgの米袋をベルトコンベアで流しながら測定
(検出下限値：25Bq/kg)

※平成24年度より検査実施

農作物（米）の放射性物質検査結果

○全量・全袋検査の結果(平成24年度)

平成24年9月21日から平成25年10月4日までに523,079件を検査。

【スクリーニング検査の結果】

	測定下限値 未満 (<25)	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg	計
検査点数	521,545	1,482	37	4	523,068
割合	99.71%	0.28%	0.01%	0.0008%	100%

【詳細検査の結果】

	25未満 Bq/kg	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg	100 Bq/kg超	計
検査点数	2	4	1	3	1	11
割合	0.0004%	0.0008%	0.0002%	0.0006%	0.0002%	0.0021%

農作物（米）の放射性物質検査結果

○全量・全袋検査の結果(平成25年度)

平成25年9月20日から平成25年11月6日までに412,309件を検査。

【スクリーニング検査の結果】

	測定下限値 未満 (<25)	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg	計
検査点数	412,133	173	2	0	412,308
割合	99.96%	0.04%	0.0005%	0.0%	100%

【詳細検査の結果】

	25未満 Bq/kg	25~50 Bq/kg	51~75 Bq/kg	76~100 Bq/kg	100 Bq/kg超	計
検査点数	0	1	0	0	0	1
割合	0.0%	0.0002%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0002%

水産物の検査体制

いわき水揚げ水産物モニタリング検査

場所：回遊性魚種—小名浜機船底曳網漁業協同組合、
いわき明星大学

沿岸性魚種—いわき市漁協、
小名浜機船底曳網漁業協同組合

対象：いわきに水揚げされた水産物

機器：NaIシンチレーター等

方法：30分間測定

(検出下限値：10Bq/kg)

※出荷前の安全確認モニタリングを実施するほか
定期的に安全継続確認モニタリングを実施。

水産物の放射性物質検査結果

○いわき水揚げ水産物モニタリング検査の結果

★平成24年5月21日から平成25年11月1日までに**294件**を検査し、
すべて検出下限値未滿。

★検査した魚種は

○回遊性魚種

アジ、イナダ、イワシ、カツオ、カツオ（冷凍）、カマス、キハダ、
キメジ、サバ、サンマ、ビンナガ（ビンチョウ）、
ビンナガ（冷凍）、メバチ、メバチ（冷凍）

○沿岸性魚種（試験操業）

ヤナギムシガレイ、キチジ、スルメイカ、ヤリイカ、ケガニ、
アオメエソ（メヒカリ）、ユメカサゴ、ミギガレイ、
ヤナギダコ、ミスダコ、ヤナギダコ（加工）、ミスダコ（加工）

農作物（自家消費用）の検査体制

自家消費用作物の放射能簡易検査

主体：市

場所：支所、公民館等21か所

対象：出荷・販売等を目的としない自家消費用の作物

機器：NaIシンチレーションスペクトロメーター 44台

方法：60分間測定

（検出下限値：

セシウム134・セシウム137とも各10Bq/kg)

※平成25年6月10日から。

以前は各20Bq/kg。

農作物（自家消費用）の放射性物質検査結果

○自家消費用作物の放射能簡易検査の結果

平成24年4月20日から平成25年9月30日までに13,582件を検査。

Bq/kg(合算)	検査数	割合	備考
20未満	11,075	81.5%	
20～50以下	744	5.5%	
50～100以下	571	4.2%	
100超	1,192	8.8%	
合計	13,582	100.0%	

農作物(自家消費)の放射性物質検査結果

○検査数の多いもの(上位15種)

作物	検査数(全体比)	20Bq/kg未満(作物比)	20Bq/kg超	内100Bq/kg超
コメ	1,350 (9.9%)	1,336 (99.9%)	14	0
ジャガイモ	1,078 (7.9%)	1,074 (99.6%)	4	0
タケノコ	904 (6.7%)	368 (40.7%)	536	177
梅	719 (5.3%)	638 (88.7%)	81	5
シイタケ	565 (4.2%)	13 (2.3%)	552	452
フキ	559 (4.1%)	526 (94.1%)	33	2
タマネギ	556 (4.1%)	553 (99.5%)	3	1
キュウリ	497 (3.7%)	497 (100%)	0	0
ダイコン	420 (3.1%)	420 (100%)	0	0
ユズ	396 (2.9%)	181 (45.7%)	215	53
柿	272 (2.0%)	263 (96.7%)	9	0
ネギ	268 (2.0%)	267 (99.6%)	1	0
カボチャ	234 (1.7%)	230 (98.3%)	4	0
ナス	220 (1.6%)	220 (100%)	0	0
ハクサイ	211 (1.6%)	210 (99.5%)	1	0

農作物（自家消費用）の放射性物質検査結果

○50Bq/kgを超えた検体(上位15種)

作物	検査数(全体比)	50Bq/kg超(作物比)	内100Bq/kg超(作物比)
シイタケ	565 (4.2%)	525 (92.9%)	452 (80.0%)
タケノコ	904 (6.7%)	346 (38.3%)	177 (19.6%)
イノシシニク	158 (1.2%)	130 (82.3%)	105 (66.5%)
ゆず	396 (2.9%)	118 (29.8%)	53 (13.4%)
ナメコ	67 (0.5%)	61 (91.0%)	49 (73.1%)
タラノメ	115 (0.8%)	48 (41.7%)	31 (27.0%)
コウタケ	24 (0.2%)	24 (100%)	23 (95.8%)
ウラベニホテイシメジ	41 (0.3%)	24 (58.5%)	15 (36.6%)
アマタケ	29 (0.2%)	24 (82.8%)	21 (72.4%)
コシアブラ	23 (0.2%)	23 (100%)	22 (95.7%)
サクラシメジ	19 (0.1%)	15 (78.9%)	15 (78.9%)
ゼンマイ	72 (0.5%)	33 (45.8%)	20 (27.8%)
ワラビ	208 (1.5%)	29 (13.9%)	16 (7.7%)
ハチク	48 (0.4%)	22 (45.8%)	12 (25.0%)
干しシイタケ	17 (0.1%)	14 (82.4%)	12 (70.6%)

農作物（自家消費用）の放射性物質検査結果

○ 地区別割合

地区	検査数(全体比)	50Bq/kg超(比)	内100Bq/kg超(比)
平	2,931 (21.5%)	304 (17.2%)	200 (16.8%)
小名浜	1,452 (10.7%)	153 (8.7%)	93 (7.8%)
勿来	1,374 (10.1%)	128 (7.3%)	82 (6.9%)
常磐	977 (7.2%)	89 (5.1%)	54 (4.5%)
内郷	634 (4.7%)	59 (3.3%)	34 (2.9%)
四倉	1,196 (8.8%)	173 (9.8%)	122 (10.2%)
遠野	672 (4.9%)	102 (5.8%)	78 (6.5%)
小川	785 (5.8%)	109 (6.2%)	83 (7.0%)
好間	523 (3.9%)	33 (1.9%)	16 (1.3%)
三和	498 (3.7%)	117 (6.6%)	86 (7.2%)
田人	449 (3.3%)	108 (6.1%)	76 (6.4%)
川前	925 (6.8%)	176 (10.0%)	129 (10.8%)
久之浜・大久	737 (5.4%)	166 (9.4%)	109 (9.2%)
市外・不明	429 (3.2%)	46 (2.6%)	30 (2.5%)

市内での加工・製造または流通 する食品、飲料水の検査結果

保健所生活衛生課

市内での加工、製造または流通する食品について、放射性物質の基準値を超過する食品が流通、消費されないことを確認するために、収去検査（抜取り検査）を実施。

平成24年2月6日から検査を開始し、平成24年度までは、毎週6品目の検査を実施。

平成25年度は、毎週16品目（8品目を週に2回）の検査を実施。

検査を実施している主な食品の一覧

区分	主な食品	
飲料水	ボトルドウォーター等	
乳児用食品	レトルト食品、瓶詰食品等	
牛乳(乳飲料を含む)	牛乳等	
一般食品	農産物加工品等	漬物、乾燥食品、こんにやくはちみつ等
	水産物加工品等	干物、刺身、乾燥食品等
	大豆加工品等	豆腐、豆腐加工品、みそ、しょう油等
	菓子等	和生菓子、洋生菓子、焼菓子、パン等
	そうざい、弁当等	揚物、煮物、和え物、サラダ、食事等

市内での製造、加工または流通する食品の放射性物質検査結果(年度別)

平成23年度

検査件数		検査結果		
42		検出下限値未満	基準値以下	基準値超過
	件数	38	4	0
	検出値		検出値 0.4~2.7Bq/kg	検出値 —
	食品名		牛乳、漬物	

平成24年度

検査件数		検査結果		
233		検出下限値未満	基準値以下	基準値超過
	件数	217	16	0
	検出値		検出値 6.2~65Bq/kg	検出値 —
	食品名		梅漬、梅干、みそ 乾燥農産物等	

平成25年度(上半期:4月~9月末)

検査件数		検査結果		
301		検出下限値未満	基準値以下	基準値超過
	件数	299	1	1
	検出値		検出値 7.0Bq/kg	検出値 170Bq/kg
	食品名		糠床用いりぬか	梅干

平成24年2月6日より実施

食品区分別検査結果

飲料水

検査件数	検査結果			下限値
4	検出下限値未満	基準値以下	基準値超過	放射性セシウム134=0.3~0.58Bq/kg 放射性セシウム137=0.4~0.63Bq/kg 放射性ヨウ素 =0.4~0.51Bq/kg
	4	0	0	
		検出値 —	検出値 —	

乳児用食品

検査件数	検査結果			下限値
16	検出下限値未満	基準値以下	基準値超過	放射性セシウム134=3.6~9.6Bq/kg 放射性セシウム137=0.4~9.9Bq/kg 放射性ヨウ素 =4.4~10Bq/kg
	16	0	0	
		検出値 —	検出値 —	

牛乳(乳飲料を含む)

検査件数	検査結果			下限値
17	検出下限値未満	基準値以下	基準値超過	放射性セシウム134=0.4~0.75Bq/kg 放射性セシウム137=0.4~0.72Bq/kg 放射性ヨウ素 =0.4~0.73Bq/kg
	14	3	0	
		検出値 1.6~2.7Bq/kg	検出値 —	

一般食品

検査件数	検査結果			下限値
539	検出下限値未満	基準値以下	基準値超過	放射性セシウム134=0.26~8.1Bq/kg 放射性セシウム137=0.28~8.0Bq/kg 放射性ヨウ素 =0.23~8.2Bq/kg
	520	18	1	
		検出値 0.4~65Bq/kg	検出値 170Bq/kg	

市内で製造、加工された食品と市外で製造、加工された食品との比較

市内の製造、加工品

検査件数	検査結果			
		検出下限値未満	基準値以下	基準値超過
498	件数	482 (96.8%)	15 (3%)	1 (0.2%)
	検出値		0.4~65Bq/kg	170Bq/kg
	食品名		梅干、乾燥農産物 みそ、はちみつ等	梅干

市外の製造、販売品

検査件数	検査結果			
		検出下限値未満	基準値以下	基準値超過
78	件数	72 (92.3%)	6 (7.7%)	0 (0%)
	検出値		1.6~13.3Bq/kg	
	食品名		干物、乾燥農産物 糠床用いりぬか、牛乳	

市内水道水の放射性物質検査結果について

市内11ヶ所の浄水場の水道水について、8ヶ所（平、上野原、泉、山玉、法田、川前、入遠野、旅人）では週4回、遠野地区の3浄水場（鷹の巣、根岸、上遠野）については週1回の検査を実施。

○結果

平成23年4月4日以降の検査については、全て「検出下限値未満」であった。

1歳未満の乳児を含むすべての方に飲用可能。

市内の飲料用井戸水の放射性物質検査結果

平成24年1月10日から水道供給区域外を、平成24年10月1日からは市内全域について検査を実施

地区	検査件数	地区	検査件数
平	24	小川	200
小名浜	4	好間	6
勿来	26	三和	676
常磐	7	田人	100
内郷	8	川前	241
四倉	13	久之浜・大久	106
遠野	166	合計	1,577

検査の結果、すべての井戸水について「検出下限値未満」であった。

下限値：放射性セシウム134＝1.0Bq/kg
放射性セシウム137＝1.0Bq/kg
放射性ヨウ素＝2.0Bq/kg

保育所給食の 放射性物質検査結果について

- 食材検査
- 一食全体検査

児童家庭課

検査品目と検査頻度など

● 検査品目

食材、提供した給食(おやつを含む)など

● 測定器・検査頻度

種目	測定器	検査頻度(1保育施設につき)	
		H24年度	H25年度
食材	Nalベクレル測定器	4品目/月に1回	5品目/月に2回
一食全体 (おやつを含む)	Ge半導体検出器	月に約1回	

● 検査結果の取り扱い

セシウム合算値が20Bq/kgを超えた場合(ただし、24年度は1核種20Bq/kg)は、食材として使用しない。

※国が定めた基準値は100Bq/kgであるが、保護者の皆様の放射性物質に対する不安を踏まえ、市独自に設定。

食材検査結果

(平成24年1月27日～平成25年9月30日まで)

食材の種類;肉類、魚類、海藻類、果物類、卵、
野菜類(豆、芋、根菜、きのこ)、加工食品類

	検査件数	検出下限値未満 (20Bq/kg以下)	20Bq/kg超え
平成23年度	489件	488件(99.80%)	1件(0.20%)
平成24年度	2,694件	2,693件(99.96%)	1件(0.04%)
平成25年度	2,878件	2,878件(100%)	0件(0%)

給食への使用を中止した食材 ⇒ 20Bq/kg を超えたもの

検査日	食材	産地	検出値
平成24年3月7日	生しいたけ	茨城県	69.48 Bq/Kg
平成24年12月20日	生しいたけ	福島県	38.56 Bq/Kg

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

一食全体検査

(平成24年1月13日調理分～平成25年9月30日まで)

	検査件数	検出下限値未満	基準値以下
平成23年度	107件	89件(83.18%)	18件(16.82%)
平成24年度	535件	505件(94.39%)	30件(5.61%)
平成25年度	354件	353件(99.72%)	1件(0.28%)

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

※検出下限値(Cs134=0.23～0.61Bq/Kg)

(Cs137=0.24～0.56Bq/Kg)

内部被ばく線量の推計(3～7歳、毎日200g摂取と仮定)

	検出された最大値 (Bq/kg)	1年間摂取時の内部被ばく線量 推測値(mSv/年)
平成23年度	1.90	0.0015(1mSv/年の1/650)
平成24年度	3.90	0.003(" 1/320)
平成25年度	0.43	0.0003(" 1/3300)

学校給食の 放射性物質検査結果について

- 食材検査（調理前）

 - ・食材
 - ・主食
 - ・牛乳

- 一食全体検査（調理後）

教育委員会事務局
学校教育推進室学校支援課

給食施設と検査体制

- 提供献立：市全体では一日14献立調理
(学校給食共同調理場7施設、単独給食調理校2校)

- 測定器・検査頻度

種目	測定器	検査頻度
食材	NaIベクレル測定器	提供日の前日
主食		1回/週
牛乳	Ge半導体検出器 (H25.6～)	1回/週
一食全体	Ge半導体検出器	1献立/日 (約3週で14献立)

- 検査結果の取り扱い

国が定めた基準値は100Bq/kgであるが、保護者の皆様の放射性物質に対する不安等を踏まえ、セシウム合算値が20Bq/kgを超えた場合は、食材として使用しないこととしている。

食材検査

(平成24年1月10日～平成25年9月30日まで)

肉類、魚類、海藻類、果物類、卵、
野菜類(豆、芋、根菜、きのこ)、加工食品類

	検査件数	20Bq/kg以下	20Bq/kg超え
平成23年度	1,904件	1,902件 (99.89%)	2件 (0.11%)
平成24年度	10,049件	10,048件 (99.99%)	1件 (0.01%)
平成25年度	4,853件	4,853件 (100%)	0件 (0%)

給食への使用を中止した食材

検査日	食材	産地	検出値
平成24年1月16日	みかん	神奈川県	20.0 Bq/Kg
平成24年2月24日	キウイフルーツ	栃木県	39.3 Bq/Kg
平成24年10月16日	むき栗	茨城県	29.9 Bq/Kg
平成25年9月3日	さつまいも	茨城県	10.2 Bq/Kg
平成25年9月30日	大豆水煮	栃木県	14.0 Bq/Kg

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

食材検査(主食)

(平成24年1月10日～平成25年9月30日まで)

白米、パン及び麺用小麦粉

	検査件数	20Bq/kg以下	20Bq/kg超え
平成23年度	25件	25件 (100%)	0件 (0%)
平成24年度	104件	104件 (100%)	0件 (0%)
平成25年度	56件	56件 (100%)	0件 (0%)

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

食材検査(牛乳)

(平成24年1月10日～平成25年9月30日まで)

	検査件数	20Bq/kg以下	20Bq/kg超え
平成23年度	10件	10件 (100%)	0件 (0%)
平成24年度	42件	42件 (100%)	0件 (0%)
平成25年度	20件	20件 (100%)	0件 (0%)

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

一食全体検査

(平成24年8月28日調理分～平成25年9月30日まで)

	検査件数	検出下限値未満	基準値以下
平成24年度	129件	129件 (100%)	0件 (0%)
平成25年度	75件	75件 (100%)	0件 (0%)

※上記検査結果は放射性セシウム合算値

※放射性ヨウ素はいずれも検出下限値未満

※平成24年度の検出下限値 (Cs134=0.428～0.977Bq/kg)

(Cs137=0.548～1.10 Bq/kg)

平成25年度の検出下限値 (Cs134=0.458～0.936Bq/kg)

(Cs137=0.488～1.12 Bq/kg)

家庭食事の放射性物質検査 (陰膳検査)の実施状況

保健所放射線健康管理センター

検査の概要

- 平成24年6月から、検査を希望する家庭で食されたものと同じ食事の検査を実施
- 対象者
市民
- 必要量
6食分(約2kg) ⇒現在は1食分(約300g)でも受付
- 検査場所
市総合保健福祉センター

検査結果について

平成24年6月27日～平成25年9月30日まで

年度	検査 件数	1mSv以下/年	検出限界値 未満
			平成24年度

検出限界値 Cs-134=0.26～0.54Bq/kg
Cs-137=0.31～0.45Bq/kg
I-131=0.37～0.58Bq/kg

検出最大値・・・Cs-134=0.91Bq/kg Cs-137=1.3Bq/kg

この食事を3～7歳のお子さんが、1日1kg、1年間食べ続けた場合の内部被ばく線量は、0.00887mSvとなります。

内部被ばく検査の実施状況

保健所放射線健康管理センター

検査の概要

- 原発事故を受けて、平成23年11月より実施
- 身体の中にある放射性物質（Cs-134、Cs-137）の量を測定（検出限界値 Cs-134:200Bq Cs-137:220Bq）
- 検査場所
市総合保健福祉センター
市立総合磐城共立病院

検査の対象者

- 平成23年11月～
事故当時18歳以下の子ども及び妊産婦(約6.4万人)
- 平成25年6月～
事故当時19歳以上39歳以下の市民(約8万人)
- 平成25年12月～(予定)
事故当時40歳以上の市民(約20.3万人)

検査結果について

平成23年11月21日～平成25年9月30日まで

単位：人

年度	受検者	預託実効線量	
		1mSv未満	検出限界値未満
23	3,100	3,100(100%)	2,754(88.8%)
24	43,457	43,457(100%)	42,870(98.6%)
25	5,031	5,031(100%)	5,007(99.5%)
合計	51,588	51,588(100%)	50,631(98.1%)

注)平成25年9月に県で実施した分は含まれていない

年齢別受検状況

平成23年11月21日～平成25年9月30日まで

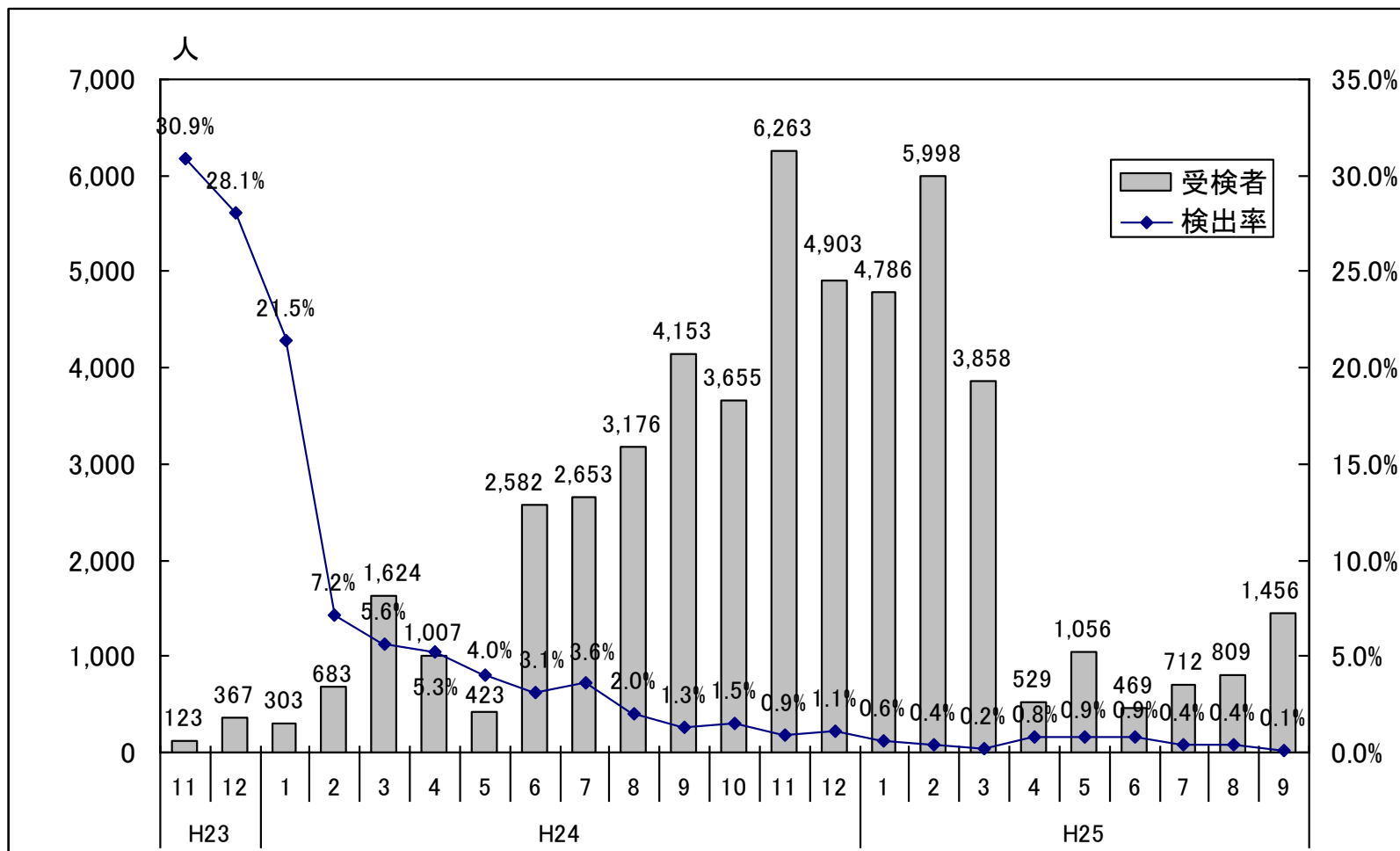
単位：人

年齢区分	～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳～
受検者数	18,890	24,246	2,605	4,611	880	356
預託実効線量 1mSv未満	18,890 (100%)	24,246 (100%)	2,605 (100%)	4,611 (100%)	880 (100%)	356 (100%)
検出限界値 未満	18,693 (99.0%)	23,689 (97.7%)	2,578 (99.0%)	4,487 (97.3%)	842 (95.7%)	342 (96.1%)

注) 平成25年9月に県で実施した分は含まれていない

受検者数及び検出率の推移

平成23年11月21日～平成25年9月30日まで



注) 平成25年9月に県で実施した分は含まれていない

WBCによる検査結果

いわき市:H24.6~H25.9末までの累計

福島県 :H23.6~H25.7末までの累計

地区	預託実行線量(mSv)			
	1mSv未満	1mSv	2mSv	3mSv
いわき市	51,588	0	0	0
相双	20,021	12	9	2
県北	36,647	2	1	0
県中	32,541	0	0	0
県南	23,023	0	0	0
会津	12,886	0	0	0
南会津	2,305	0	0	0

1mSv以上検出されたケースは、**野生のキノコ、イノシシ肉などを日常的に、検査しないで食べていた場合で、摂取を取りやめたら減少した**

「COOPふくしま」「いわき市」の陰膳検査結果

実施者	検査時期	検査 家庭数	1Bq/kg以上 検出された 家庭数	最大家庭の値	
				濃度 (Bq/kg)	年間被ばく 推計値(mSv/年)
コープ ふくしま	H23.11～H24.4	100	10	11.7	0.14 (他の 9件は0.07以下)
	H24.6～H24.8	100	2	3.2	0.037
	H24.12～H25.2	100	7	3.7	0.05
いわき	H24. 6～H24.8	53	3 (注)	2.2	0.025 (注)

(注)コープふくしまとの比較のため1Bq/kg以上の検出数を示す。摂取量は2kg/日で計算

ご清聴
ありがとうございました

がんばっぺ
いわき